

平成18年9月15日

会 議 録 審査内容

◇会 議 録

- 1 日 時 平成18年9月15日
 開会 13時00分 閉会 13時14分
- 2 場 所 幕別町役場5階会議
- 3 出 席 者 9名
 委員長 坂本 偉
 副委員長 中野敏勝
 委 員 堀川貴庸 増田武夫 永井繁樹 佐々木芳男 豊島善江
 杉坂達男 大野和政
 議 長 本保証喜
- 4 欠 席 者 なし
- 5 傍 聴 者 額額太郎 助川順一 芳滝 仁 牧野茂敏 乾 邦広 中橋友子 野原恵子
- 7 職務のため出席した議会事務局職員
 局長 堂前芳昭 課長 横山義嗣 係長 国安弘昭
- 8 審査事件 陳情第2号 「国を愛する心」を強制する「教育基本法の改正に反対する意見書」の提出
 を求める陳情
- 9 審査結果 別 紙
- 10 審査内容 別 紙

委員長 坂本 偉

◇審査内容

13 : 00 開会

○委員長（坂本偉） ただいまから、総務文教常任委員会を開会いたします。

早速ですが、これより議事に入りたいと思います。

本日の議題につきましては、先に本委員会に付託されました陳情第 2 号でございます。継続審議でございます。

それでは陳情第 2 号、「国を愛する心を強制する教育基本法の改正に反対する意見書」の提出を求める陳情について審議に入りたいと思います。

これにつきましては、6 月の定例会に本委員会に付託されて過去 4 回、今日で 5 回目となる審査でございます。皆さんのご意見をいただきながら進めていきたいなと思っております。各委員の方々から意見があれば出していただきたいと思います。ございませんか。

杉坂委員。

○委員（杉坂達男） 本件につきましては、今委員長がお話のように今回で 5 回の継続審査を行っている。この事実を捉えてみましても、いかにこの問題が我々、あるいは我々議会にとりましても重要な問題であるかということの指しているわけなんです、この環境でというのは、日本の今の環境の中でこれらの是非をここで決めるという、あるいはそういった方向付けをするというには、我々としてはこの 5 回の委員会をもってもなおかつ時間が足りない。

取りも直さず、国民論議というものも私自身としてはもっと期待した状況があったわけですが、一時の議論からしてみれば非常に消沈したような形になっている。加えて、今日本の新しいリーダーの下で新しいスタートをするという状況下でもあり、これらの問題も含めて環境がどんなふうになっていくかについても、また興味のあることであるし、そしてまたこの陳情者が言うておりますように、このことは国民的な議論を前提にし慎重に時間をかける、私も全くこのことを従来から言っていますとおり、もう少し真剣に自分の身の周りのことからきちんと考えていくことが必要であろうと思います。

今の時代背景というのは、子が親を、親が子をとというようなそういう荒んだ時代背景の中での今の日本、将来の日本を、というふうなことの議論にしては、あまりにも深みのない議論ではないかなというふうに思います。

したがって、ここで是非を捉えるについてはまだ多少の時間が必要だし、最も望んでいるのは広く国民的な議論がもっと自分たちの周りから出てきて、これらがどういうふうな環境を作っていくか、これを待ちながら我々も考えていきたいというふうに思います。

○委員長（坂本偉） 他にご意見ございませんか。

（なしの声あり）

○委員長（坂本偉） それでは今杉坂委員の方から継続というご意見がございましたけれども、これについて皆さんご異議ございませんか。

（なしの声あり）

○委員長（坂本偉） それでは、本陳情については継続審査とさせていただきます。

暫時休憩いたします。

（13 : 05 休憩）

（13 : 12 再開）

○委員長（坂本偉） それでは休憩を解いて再開いたします。

先ほど継続審議ということで、この陳情につきましては開会中に最善の努力をいたしまして、日程が取れば審査をするということで、もし取れなければ閉会中の継続審査ということで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○委員長（坂本偉） それではそのように決定させていただきます。

委員会の今言った次回の内容とか、その辺については委員長、副委員長にお任せいただけますか。

（はいの声あり）

○委員長（坂本偉） それではそのようにさせていただきます。

それではその他についてこちらからはありませんが、皆さんの方からありますか。

（なしの声あり）

○委員長（坂本偉） それではこれをもちまして委員会を閉会いたします。

13 : 14 閉会